

2025年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名 科目ナンバー	自立に向けた食事支援		教員氏名	佐藤 美紀	
	Ⅲ-6-1-1②				
学年	専攻科		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士	6年
テーマ	食事・口腔ケアの介護技術を習得する				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	この科目では主に食事介助、口腔ケアについて学びます。多くの技術を体験、グループディスカッションやディベートを用いて高齢者の気持ちにの理解を目指します。利用者本人が尊厳を保持し、主体的に生活を送れるよう根拠に基づいた基礎的な知識・技術を習得します。また、介護福祉士として社会福祉施設に勤務した経験をもとに事例を用いながら解説します。国家試験を見据えた小テストを実施します。				
授業の 到達目標	①自立に向けた食事のアセスメントや意義を説明できる ②自立に向けた身支度(口腔ケア)の意義やアセスメントについて説明することができる				
	③障がいに応じた、食事・口腔ケアの介助を使用できる ④自立に向けた用具の活用と環境整備について説明することができる				
	⑤脱水や誤嚥の原因や対応・事故や感染症の説明できる ⑥ICFの視点に基づいた食事における生活支援について述べることができる				
テキスト	『生活支援技術Ⅱ』介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規				
参考書	プリントの配布				
ポートフォリオ	ワーク7. 8. 9「介護に関する漢字」				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他: コマシラバスの活用				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	まとめテスト60%、10分ワーク・小テスト20%、実技試験10%、授業内態度10%		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	食事における生活支援とは食事の意義・食事のメカニズム・食事介助の技術	
	授業外学習	〈復習〉美味しく食べる工夫についてワークにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	ベッド上・片麻痺の方の食事の介助	
	授業外学習	予習)教科書にてベッド上の食事介助に目を通す。	55分
第3回	テーマ 内容	嚥下の仕組み・誤嚥・窒息の予防・誤嚥性肺炎の予防について	
	授業外学習	〈予習・課題〉誤嚥性肺炎とは何かを調べる 〈課題〉嚥下のメカニズム(10分ワーク)を覚える	55分
第4回	テーマ 内容	水分摂取の介助・脱水の予防	
	授業外学習	〈予習・課題〉脱水の兆候について調べる。	55分
第5回	テーマ 内容	嚥下困難の方への食事介助と用具の活用と環境整備	
	授業外学習	〈予習〉嚥下のメカニズムを復習する 〈課題〉食事の介助の分野を勉強する(小テスト)	55分
第6回	テーマ 内容	食事の姿勢と環境	
	授業外学習	〈課題〉誤嚥の5つのメカニズムを覚える(10分ワーク)	55分
第7回	テーマ 内容	食事のための工夫と道具・用具の活用	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて食事のための道具・用具の種類に目を通す	55分
第8回	テーマ 内容	口腔ケアの目的とブラッシングの種類	
	授業外学習	〈課題〉口腔ケア分野を勉強する(小テスト)	55分
第9回	テーマ 内容	口腔ケアの実技(座位姿勢における技術・ベッド上での技術)	
	授業外学習	〈復習〉口腔の汚れのつきやすい部分を理解し、ブラッシングを実践する	55分

第10回	テーマ 内容	口腔マッサージの効果と技法・義歯について	
	授業外学習	〈予習〉教科書にて義歯の管理の方法調べる	55分
第11回	テーマ 内容	胃ろう・片麻痺・認知症の方への口腔ケアと感染症や事故への対応	
	授業外学習	〈復習〉失行・失認・空間認識に応じた口腔ケアについてワークにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	実技試験(片麻痺の方の口腔ケア)	
	授業外学習	〈予習〉片麻痺の方の口腔ケアの留意しながら、実技試験へ向けの練習	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ：生活支援とチームアプローチ	
	授業外学習	〈課題〉食事の支援において連携の場面を想定する。利用者の自己決定や楽しみ・生きがいがいになるような支援について考える。	55分

課題に対するフィードバックの方法

採点した小テスト、10分ワークは当該学生に開示し、不明点に対する説明を授業内で行う。両テストともに7割に満たない学生は再テストや教員と勉強を行う。